

# 伴野豊の絆レポート



## 伴野豊の活動報告

皆さん！こんにちは、伴野豊です。猛暑が続いていますね。40℃超え続出。人間の熱中症対策も大切ですが、元鉄道マンの私は、鉄道の熱中症、とりわけレールの張り出しがとても気にかかるところです。さて、私の活動は、この季節、もっぱら盆踊りと夏祭り巡りです。以前は、ご挨拶だけしたら次から次へでした。今年は比較的ドブプリと踊らせて頂きながら、一箇所ずつ時間をかけて廻らせて頂いております。地域を再認識する上で、この盆踊りと夏祭り、大変重要な行事であり、最高の地域社交場でもあります。皆様方も是非、地域の盆踊り、夏祭りに積極的にご参加下さい。ちょうどいいマーケティングの機会になるかも知れません。

## 伴野豊の気になる国土交通政策

猛暑のこの季節、そろそろ来年度概算要求基準が出て来る時期です。鉄道絡みですと、以下の二つが話題に上っているようです。

### 1. 鉄道施設の耐震対策

本年4月に、鉄道事業者に耐震化の努力義務を課す耐震省令が施行されました。これにより、平成29年度までの耐震化の努力義務が課せられます。鉄道局では、鉄道施設の耐震対策に対する支援措置(補助)が講じられていますが、省令による努力義務とあわせて、支援措置の拡充が求められます。

### 2. 首都圏空港の都心直結線整備にPFI導入へ

6月に策定された政府の成長戦略(日本再興戦略)で、「首都圏空港の強化と都心アクセスの改善」として、「都心と両空港(羽田、成田)とのアクセス改善に向けて、既設の鉄道の活用や都心部における大深度地下の利用などによる都心直結線の整備に向けた検討を進める」とされたことを受け、国土交通省では鉄道事業として初となるPFI手法の活用を検討します。都心直結線の建設期間は10年を想定。リニア新幹線が開通する2027年頃までの完成を目指すとの報道されています。

最近のゲリラ豪雨、国民の生命と財産を脅かす集中豪雨の対策など喫緊の課題、山積みです。国土強靱化という名称はあまり好きになれませんが、早急な対策が求められています。必要な箇所に必要な対策をする、後世の批判に耐えられる予算編成を切に望みます。

## 伴野豊の気になる本



今回の伴野豊の気になる本は、塚田薫著「日本国憲法を口語訳してみたら」です。どこかの新聞記事だったのでしょうか、インターネットで日本国憲法の口語版が話題になっているって。その時は「ふーん、また、一過性のもの？」って感じで読み流していたら、今回、本になっていました。しかも、あの幻冬舎から。もうこうなったら読むしかない。地元愛知の学生が書いた本でもあるし。憲法学者の長峯信彦先生が監修者でもあるし。そう思って買って読んで見ると、これがなかなか面白い。「？」と思うところもないわけではないが、実に面白い。理解し易い。改めて学ぶところも多い。著者塚田薫さんの「護憲？改憲？その前に... 読んだことありますか？」の問いかけに素直に応える意味でも是非どうぞ。東京名古屋を新幹線で往復する時間で十分読めます。幻冬舎(定価: 本体1100円+税別)



「ばんの豊」でfacebook始めましたので、是非ご覧ください。

伴野豊事務所 半田市青山2-19-8

TEL: 0569-25-1888

FAX: 0569-25-1881

E-mail: office@bannoyutaka.jp

HP: bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区: 半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

